

令和5年度野菜・果実の消費拡大支援委託事業

規制のサンドボックス制度（新技術等実証制度）の成果物  
「直販所や量販店の野菜・果実の栄養素の一般的な  
機能性・特徴表示に関する POP 表示マニュアル」  
の普及活動

## 取組内容報告書

令和6年2月

一般社団法人 食と農の生命科学研究会

—目次—

第 1	事業概要.....	1
第 2	研修等の実施状況 .....	2
第 3	研修受講企業別の取組内容.....	5
第 4	事業実施評価のまとめ.....	12

## 第1 事業概要

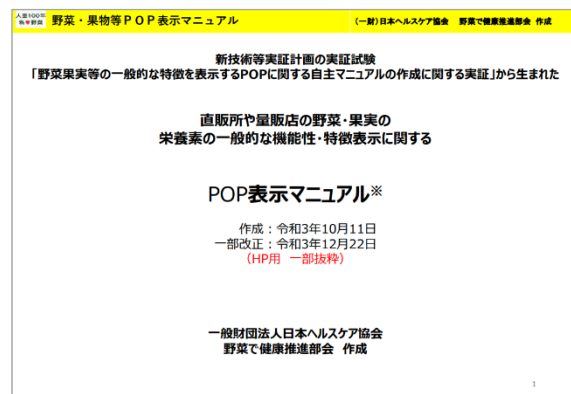
### 1 事業名

令和5年度野菜・果実の消費拡大支援委託事業

### 2 事業目的

野菜・果物の成人1人1日当たりの平均摂取量（令和元年）は野菜280.5g、果物100.2gで、「健康日本21（第二次）」（厚生労働省策定）等で目標とする野菜350g、果物200gにいずれも達しておらず、1人当たりの野菜・果物の摂取量の増加が課題となっている。

本事業は、規制のサンドボックス制度（新技術等実証制度）の成果物「直販所や量販店の野菜・果実の栄養素の一般的な機能性・特徴表示に関するPOP表示マニュアル」（以下「POP表示マニュアル」という。）の普及に向け、POP表示を行う小売店に対する表示規則やアピール手法等に関する研修を行い、もって店舗での適切なPOP表示と消費者の理解促進を図ることを目的に実施した。



（直販所や量販店の野菜・果実の栄養素の  
一般的な機能性・特徴表示に関する  
POP表示マニュアル）

### 3 事業期間

令和5年6月26日から令和6年2月29日まで

### 4 業務内容

POP表示マニュアルを用いて小売店に対する研修を実施した。また、受講者の実店舗におけるPOP表示の取組をサポートするとともに、POP表示に取り組んだ店舗数と取組内容等を把握した。

## 第2 研修等の実施状況

### 1 全体概要

	実績
研修参加企業数	8社
研修実施数	24回
研修参加人数	145人
サポート活動	13回

### 2 参加企業別の実施状況

参加企業	研修等の実施	参加人数
エーコーブ近畿 (大阪府) 対象：6店舗	11/20 幹部向け研修	2人
	12/12 幹部向け研修	6人
	1/25 店舗向け研修 (1店舗) サポート活動 (保健所説明)	9人
	1/26 店舗向け研修 (1店舗) サポート活動 (保健所説明)	6人
	2/1 店舗向け研修 (個別で2店舗) サポート活動 (保健所説明)	17人
	2/2 店舗向け研修 (個別で2店舗) サポート活動 (保健所説明)	16人
	2/29 幹部向け研修	2人
	ショッピング大 黒 (徳島県) 対象：1店舗	2/13 幹部向け研修 (Web)
2/19 店舗向け研修 (1店舗) サポート活動 (保健所説明)		11人
JA さがみ (神奈川県) 対象：1店舗		11/11 幹部向け研修
	1/17 店舗向け研修 (1店舗) サポート活動 (保健所説明)	9人
スーパーマルイ (新潟県) 対象：5店舗	10/24 幹部向け研修 (Web)	6人
	12/1 店舗向け研修 (個別で3店舗) サポート活動 (保健所説明)	10人 3人
	12/2 店舗向け研修 (1店舗) サポート活動 (保健所説明)	
ナリタヤ (千葉県) 対象：12店舗	9/29 幹部向け研修	4人
	11/14 店舗向け研修 (合同で12店舗)	22人
	12/13 店舗向け研修 (1店舗 (2回目))	7人

	2/15	消費者向けアンケート（取組効果等把握） サポート活動（保健所説明）	
ヤマナカ （愛知県）	1/12	幹部向け研修 （店舗向け研修なし）	3人
ユニー （愛知県）	9/29	幹部向け研修 （店舗向け研修なし）	3人
ライフ関東 （東京都）	11/10	幹部向け研修 （店舗向け研修なし）	3人

#### ※研修の実施方法について

研修の効果的な実施方法について検討し、農林水産省担当職員と事前に協議を行った結果、

- ・研修の形式は、集合研修形式では、各企業とも販売戦略等の秘匿事項があり実践的な研修になりづらいため、企業ごとに個別研修形式とすることとし、
- ・また、企業ごとに、幹部（意思決定者、バイヤー等）の理解を深めるための「幹部向け研修」と、実店舗でのPOP表示に関わるスタッフ向けの「店舗向け研修」に分けて行うこととした。

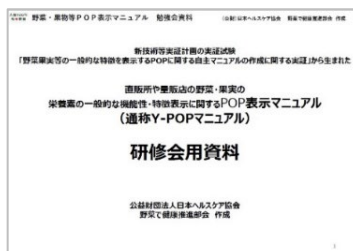
この結果、仕様書において「研修に当たっては、1回当たりの受講者数は原則15名以上とし、計10回以上の研修を実施すること」となっていたところ、1回当たりの受講者数が15名に満たない場合も生じることとなった。

#### ※サポート活動（保健所説明）について

店舗で実際にPOP表示を始めるにあたり、事前に、POP表示マニュアルをもとに作成・掲示したPOPであることについて、管轄する保健所に対して説明を行うことで、研修を行った小売店が継続的にPOP表示を行いやすい環境づくりをサポートする目的で行った。

### 3 研修内容

POP表示マニュアルをもとに、日本における野菜・果物の摂取量についての現状、事業の背景等を含め、法律に基づく表示にあたっての規制の内容や、POPへの記載、表示する際の注意点等を説明し、質疑応答等を通じて理解を深めた。さらに、幹部向け研修では、実際に対象とする品目の検討や取組に際しての実践的な指導を行い、店舗向け研修では、検討したPOPの実際の掲示にあたっての注意点等の説明や助言を行った。



研修用資料は  
別添資料参照



### 第3 研修受講企業別の取組内容

#### 1 エーコープ近畿

実施店舗数	6店舗
実施店舗名	四日市店、高蔵寺店、和田山店、神野店、へぐり店、和泉店
POP表示品目（数）	上記6店舗において、1店舗あたり2品目（トマト、きのこ類）のPOPを表示した（POP表示数は計12点）
POP	
POP表示・店舗の様子	 <p style="text-align: center;">高蔵寺店</p> <p style="text-align: center;">和田山店</p> <p style="text-align: center;">神野店</p> <p style="text-align: center;">ららぽーと和泉店</p>

## 2 ショッピング大黒

実施店舗数	1店舗
実施店舗名	ショッピング大黒
POP表示品目(数)	4品目(トマト、柑橘類、葉物類、きのこ類)のPOP表示を行う予定(令和6年3月下旬)

## 3 JAさがみ

実施店舗数	1店舗
実施店舗名	わいわい市 藤沢店
POP表示品目(数)	1品目(トマト)のPOP表示を行う予定(令和6年3月中旬)

## 4 スーパーマルイ

実施店舗数	5店舗
実施店舗名	分水店、女池店、吉田店、本成寺店、アトレ柏崎店
POP表示品目(数)	上記5店舗において、1店舗あたり26品目のPOPを表示した(POP表示数は計130点) (26品目は以下のとおり) いちご、かぼちゃ、キャベツ、きゅうり、サトイモ、しいたけ、じゃがいも、すいか、だいこん、たまねぎ、とうもろこし、トマト、なす、にんじん、ピーマン、ブロッコリー、レタス、柿、梨、ぶどう、みかん、メロン、もも、りんご、葉物野菜、キノコ類
POP	





真っ赤に熟したトマトは  
**リコペン** **β-カロテン** を多く含んでいます。

リコペンは、トマトの赤みをつくらせている色素で、抗酸化作用があり、活性酸素の働きをおさえると、**血圧やLDLコレステロールの数値を下げ**る機能があると報告されています。

β-カロテンとは、体内で**ビタミンAに変化**します。  
※油と一緒に摂取すると吸収率が高まります。

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。  
 健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろいろな野菜を1日350g食べましょう。(公財)日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進委員会 監修

葉物野菜類（ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、みず菜）は、  
**葉酸** **ビタミンC** が多く含まれています。

葉酸はビタミンの一種で、**赤血球の形成を助ける栄養素**です。妊婦では胎児の正常な発育に寄与する栄養素です。

ビタミンCは水溶性のビタミンで、皮膚や粘膜の健康維持を助けるとともに、**抗酸化作用を持つ栄養素**です。

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。  
 健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろいろな野菜を1日350g食べましょう。(公財)日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進委員会 監修

きのこ類（しいたけ・しめじ・えのき・まいたけ・エリンギ）は  
**ナイアシン** **ビタミンD** を多く含んでいます。

ナイアシンは、**皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素**です。また、体内における脂質および糖分の機能を保ち、**細胞を正常な状態に維持**するために必要とされます。

ビタミンDは、腸管でのカルシウムの吸収を促進し、**骨の形成を助ける栄養素**です。しいたけを30分ほど日光に当てると、**ビタミンDが増える**とされています。

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。  
 健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろいろな野菜を1日350g食べましょう。(公財)日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進委員会 監修

POP表示・店舗の様子



分水店



女池店




本成寺店



吉田店

5 ナリタヤ

実施店舗数	12店舗
実施店舗名	安食店、富里店、酒々井店、布佐店、たかの台店、花見川店、下総滑川店、茂原店、小深町四街道店、印旛日本医大前店、神崎店、旭萬力店
POP表示品目（数）	<p>上記12店舗において、1店舗あたり15品目のPOPを表示した（POP表示数は計180点）</p> <p>（15品目は以下のとおり）</p> <p>にんじん、ピーマン、たまねぎ、ほうれん草、トマト、キャベツ、ブロッコリー、ジャガイモ、キュウリ、ナス、ダイコン、レタス、ネギ、サトイモ、白菜</p>
POP	 <p>The POP cards are arranged in a 3x2 grid. Each card features a colorful illustration of the vegetable and text in Japanese describing its health benefits. A QR code is present on each card for more information.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>ニンジン食べよう!</b> (Carrot): Vitamin A for night vision, skin/mucous membrane health, and immune system support. Contains beta-carotene that converts to Vitamin A in the body.</li> <li><b>ピーマン食べよう!</b> (Peperoni): Vitamin C, top-class vegetable, skin/mucous membrane health, and immune system support. Contains beta-carotene that converts to Vitamin A.</li> <li><b>たまねぎ食べよう!</b> (Onion): Strong antioxidant action, suppresses active oxygen, polyphenols, and selenolipids. Top-class vegetable with sulfur allyl compounds.</li> <li><b>ほうれんそう食べよう!</b> (Spinach): Vitamin A for night vision, skin/mucous membrane health, and immune system support. Rich in iron for blood circulation and magnesium for bone/teeth formation.</li> <li><b>トマト食べよう!</b> (Tomato): Lycopene antioxidant action, suppresses active oxygen and blood pressure, and regulates LDL cholesterol. Contains beta-carotene that converts to Vitamin A.</li> <li><b>キャベツ食べよう!</b> (Cabbage): Vitamin K for normal blood coagulation, Vitamin U for gastric mucosa protection, and Vitamin C for antioxidant and immune functions. Rich in Vitamin K, U, and fiber.</li> </ul>

### ブロッコリー食べよう！

ビタミンCが**抗酸化作用と免疫機能**を正常な状態に維持する重要な役割  
**皮膚や粘膜の健康維持**  
葉酸が**赤血球の形成**を助ける  
話題の**スルフォラファン**も豊富



食物繊維が**血中コレステロールや血糖値、大腸内の環境を整える**

健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

### ジャガイモ食べよう！

ビタミンB6が**タンパク質からのエネルギー**産生と**皮膚や粘膜の健康維持**を助ける  
ビタミンCが**抗酸化作用と免疫機能**を正常に維持する為の重要な役割  
**皮膚や粘膜の健康維持**を助ける  
ジャガイモの**ビタミンCはミカンより2割多く**、水に溶けるので**煮汁ごと食べる**  
鉄が**体中の細胞に酸素を運ぶ**  
**ヘモグロビンの原料**となり、**貧血を防ぐ**



健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

### キュウリ食べよう！

水分が**95%で低カロリー**  
**ナトリウム、カルシウム**  
**ビタミンA、K、亜鉛**  
**マグネシウム**など  
**ミネラルは少なくとも**  
**バランスよく含む**



健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

### ナス食べよう！

水分が**90%で低カロリー**  
**紫色の成分ナスニン、GABA**含み、**コリンエステル**が**正常な血圧を保つ**と言われ、**血圧高めの方に**おすすめ  
少なくとも**ビタミンK**  
**カリウム、葉酸、食物繊維**など**バランスよく含む**



健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

### ダイコン食べよう！

辛み成分に**イソチオシアネート**を含み  
**消化を助けるアミラーゼ**は**大根おろし**等生食が効果的  
**βカロチン、ビタミンC、カルシウム、食物繊維**、は葉っぱに多く含まれる



健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

### レタス食べよう！

**カリウムが正常な血圧を維持**、**筋肉の動きを良くする**  
**ビタミンKが正常な血液凝固機能を維持**  
サニーレタスなどの**葉レタスのほうが**玉レタスより**ビタミンK、カリウム、β-カロチン、ビタミンCが豊富**



健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

### ネギ食べよう！

**マグネシウムが骨の正常な成長と維持**、**神経や筋肉**など体の部位の**正常な機能**、**胃酸の中和**を補助、**便通の緩和**  
**葉酸が貧血予防**、**胎児の神経管の発育**に**妊娠前の約2倍必要**  
**マグネシウム、葉酸**の他にも**食物繊維、カリウム、カルシウム、ビタミンC、K、B6**、多くの**ビタミン**や**ミネラル**を含む



健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

### サトイモ食べよう！

**水溶性食物繊維がコレステロールの吸収を抑え**、**グルコース(ブドウ糖)の吸収を穏やかに**  
**不溶性食物繊維が便のかさを増やし**、**腸内環境を整える**  
**カリウムが正常な血圧を維持**、**筋肉の動きを良くする**



健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

### ハクサイ食べよう！

**ビタミンKが正常な血液凝固を維持**  
**ビタミンCが抗酸化作用と免疫力の維持**、**皮膚や粘膜の健康維持**  
**ビタミンK、ビタミンC**、**食物繊維**の他に**微量だがカリウム、マグネシウム、鉄、銅、ビタミンA、E、B1、B2、b6、ナイアシン、葉酸、パントテン酸**など**バランスよく含む**



健康維持を助けて体の健康状態を良くしましょう。いらいら状態を1日30分食べましょう。食生活は主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを、「一食」日本へヘルシーな食生活、野菜や果物を積極的に食べよう。

POP表示・  
店舗の様子



同様に青果売り場に15品目のPOPを掲示した。

## 第4 事業実施評価のまとめ

本事業は、規制のサンドボックス制度（新技術等実証制度）の成果物「直販所や量販店の野菜・果実の栄養素の一般的な機能性・特徴表示に関するPOP表示マニュアル」の普及に向け、POP表示を行う小売店に対する表示規則やアピール手法等に関する研修を行い、もって店舗での適切なPOP表示と消費者の理解促進を図ることを目的に実施した。

本事業により、8社25店舗の計145人が研修会に参加し、研修会数は延べ24回となった。研修会を踏まえ各店舗で実施したPOP表示は計326点となった（予定を含む）。

研修会の参加者からは、「今回の研修で知った内容をもとに、もっと積極的にお客様に野菜のよさをおすすめしていきたい」「季節にあわせたPOP表示をしていきたい」等の前向きな感想があり、研修を通じて表示を実践していこうという機運が高まっていると感じた。

さらに、研修を踏まえ掲示したPOPに対して、消費者からは、「健康志向の観点から、このようなPOP表示がある店舗で購入したい」「体調管理のため野菜の栄養素を気にして買いたい」等の声もあり、適切なPOP表示により消費者の理解促進が図られ、行動変容を促すことが出来ると考えられる。

野菜・果物の消費拡大に資する適正なPOP表示をすることを通じて、消費者にとって分かり易く魅力のある売り場となり、野菜・果物の消費拡大に繋がっていくものと思われる。